

就労継続支援B型事業所 クローバーハウスの活動



☆缶詰パンの賞味期限が、2年から3年になりました！

長期保存が可能で、災害備蓄用として最適な缶詰パンを製造・販売しています。
従来のチョコ・コーヒー・フルーツ味に加え、バター風味豊かなプレーン味が新登場しました。
平成29年6月から缶詰パンの賞味期限を従来の「2年」から「3年」に延長し、より長期保存ができるようになりました。
近年、全国各地でゲリラ豪雨やそれに伴う災害発生等が頻発し、各家庭や自治体での災害に対する備えが重要視されています。
この機会に、災害備蓄用食品として缶詰パンを是非ご検討ください。



☆三重県外の美術館でも缶詰パンを販売しています！

長野県諏訪市内「SUWAガラスの里」美術館で開催中の企画展【シンデレラとガラスの靴展】で販売しています。
クローバーハウスと交流のある東京の(株)アトランスチャーチ様の発注を受け、【プリンセスシリーズ】として出荷しています。



☆お伊勢さん菓子博2017へ出店しました！

4年に一度の全国菓子博が、伊勢市の三重県営サンアリーナで開催されました。
4月21日から5月14日の開催中、会場の一角に設置された「わいわい工房」でクローバーハウスが4日間を販売しました。
菓子博向け新商品として、三重県特産の「あおさ」、「伊勢茶」、「ブルーベリー」をふんだんに使用した「あおさのラスク」、「ゆめいろボール」、「伊勢茶&大納言パウンドケーキ」、「ブルーベリーのパウンドケーキ」等を開発しました。
販売商品には菓子博公認キャラクター「いせわんこ」を使用し、多くの方にお土産としてお買い上げをいただきました。



編集後記

三重県精神保健福祉会 山本理事長様よりご寄稿いただき、誠にありがとうございました。
皆様、豊かな秋をお過ごしください。

佐野、林、森山、清水、河戸

夢の郷 つうしん

発行2017年 9月 通巻第40号 発行責任者：日野 昭義
〒514-0818 津市城山1丁目8番16号
Tel 059-238-0303 Fax 059-238-0304

<http://yumenosato.net> [mail:yumenosato@aquaa.ocn.ne.jp](mailto:yumenosato@aquaa.ocn.ne.jp)

基本理念：夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせる生活支援を行います。

- ・人権を守り主体性の尊重に努めます。
- ・地域で暮らすための環境整備に努めます。
- ・安心と安全の保障に努めます。



寄稿 【入院に依らない精神科医療をめざして】

NPO 法人 三重県精神保健福祉会
理事長 山本 武之



私には40代の統合失調症の息子がいます。息子の入院は2年7ヶ月にも及びました。なぜ、そんな長期入院が行われていたのか？最近やっと理解ができました。
入院日数を日本と全世界でみると、欧米諸国が6日から長くて50日程度なのに、日本は260日で飛びぬけて長いのです。また、精神科病床数でみると、全世界の入院病床合計数162万床、日本の入院病床数は33万床で人口に比べて入院病床数が非常に多いことも特徴の一つです。

この要因は、日本の精神医療政策が入院医療を中心としていることに問題があります。精神科医療財政からみると、精神科医療財政合計額は1兆9000億円、そのうち入院医療費が1兆4000億円、通院治療費は4500億円、残り500億円が福祉的医療で、入院治療費が70%を超え大半を占めています。

世界保健機関（WHO）でも「社会的入院」（特に入院・加療を必要とする急性期治療が終わっても様々な理由から長期入院している状態）が慢性化している状態を人権や医療費等の観点から問題であると指摘しています。

日本政府は、平成15年に今後10年間で精神保健医療福祉の改革を目指す「精神保健医療改革ビジョン」で①入院治療中心から地域治療中心へ②受け入れ条件を整えば退院可能な者（約7万人）の社会的入院を解消すること、を発表しました。10年経過しましたが、道半ばにも至っていません。

その理由の一つが「日本の精神入院医療機関80%が民間病院であり、簡単に縮小・閉鎖できない」ことにあります。

先進事例として、イタリアでは平成12年までの30年間で全ての精神科入院病床をなくしました。また、民間病院の割合が高いベルギーやフィンランドにおいては病院で働く人たちの新しい職場（リカバリー）を国が保証する形で退院促進がスムーズに進んでいます。

私たち家族会は入院に依らない精神科医療（リハビリ中心）が日本でも可能であることを、行政機関に対して働きかけていきたいと決意しています。

こんにちは 宿泊型自立訓練事業所 朝海ハイムです



この事業は定員を 10 名とし、原則 2 年間入所利用できるものです。
自立した日常生活を営むことが出来るよう、
生活能力の維持や向上のための
支援サービスを提供しています。



具体的には、食事や入浴の見守り、
暮らしに関する相談、医療機関の受診や
買い物へ行く為の支援を行っています。

夢の郷の理念に則り、地域社会で暮らす利用者様の生活を応援し、
地域との関係を深めるお手伝いをしていきたいと考えています。

本年5月からは更に利用者様の安心・安全を考慮し、夜間支援員を配置する体制を整え、
利用者様の夜間の安全確保体制が一層充実しました。
夜間の見守りに対して、利用者様からも嬉しい声をいただいています。
朝海ハイムを利用されている方の「声」を紹介します。



自分の苦手なことを助けてもらっています。
趣味のCDを購入する時や、図書館へ本を借りに行く
時は送迎をしてくれるので嬉しいです。

余暇活動として、利用者様と一緒に小物入れを制作しました。
他にも、生け花や編み物などを行っています。



就労継続支援B型事業所 いすず工房の新しい事業



★新しく生活介護事業を始めました！

「就労継続支援B型作業所 いすず工房」では、平成29年6月1日から定員8名の
多機能型生活介護事業を新たに始めました。

現在4名の方が利用され、午前8時半から午後3時まで活動しています。

生活介護事業では、日常生活の介護、創作的活動
又は生産活動等の提供を目的としています。

午前は、血圧測定や体温測定等の健康チェックや
ミニ体操、軽作業等に参加しています。

午後は、入浴、パズル、読書、手芸等の創作的活動等、
利用者様にゆったりとした時間を過ごして頂いています。



★通所介護事業所「なすな」への昼食提供を始めました！

当法人の協力医療機関である「みえ医療福祉生活協同組合高茶屋診療所」の通所介護事
業所「なすな」に平成29年4月1日から昼食の提供をしています。

「なすな」は、「高茶屋診療所」の同一敷地内に新築された事業所で、いすず工房からは
車で5分程度の距離のところにあります。

スタッフとして、いすず利用者様1、2名と職員1名で毎日「なすな」に赴き、
出来立ての美味しいおかず、炊き立てのご飯、汁物などのランチサービスを行って、
おかげさまで大変ご好評をいただいております。

味付けや具材の硬さや大きさ等の感想をなすな利用者様から伺いながら、より良い昼食
づくりのヒントとして活かしていきたいと思えます。

いすず利用者様からは、地域住民の方との交流を通じて、「仕事が楽しい」、「ありがとう
と言ってもらえて嬉しい」という声をいただいています。

